

かんとくクリニック 小児泌尿器科外来開設のお知らせ

「かんとくクリニック」におきまして、令和8年(2026年)4月1日付けで、坂井清英医師が勤務することになりました。坂井医師は、東北大学泌尿器科から宮城県立こども病院にかけて40年来、小児泌尿器科を専門として数多くの患児の診断・治療に従事してきました。関わった小児手術件数は5,000症例に及びます。東北大学においては、日本の小児泌尿器科の先駆者として著名な故：折笠精一東北大学名誉教授に小児泌尿器科の臨床および基礎を学びました。また小児泌尿器科に腹腔鏡手術を導入し、さらには小児精索静脈瘤に対する顕微鏡下手術も施行してきました。

小児泌尿器科疾患は多岐にわたり、内科的管理のみでなく外科的管理も必要な疾患が含まれています。代表的な疾患は以下となります。

- ・ 腎尿路先天異常 (CAKUT: Congenital anomalies of the kidney and urinary tract): 膀胱尿管逆流、先天性水腎症、巨大尿管、異所性尿管、尿管瘤、多嚢胞性異形成腎、後部尿道弁、総排泄腔外反、尿生殖洞異常 etc.
- ・ 性分化疾患 (DSD: Disorders of sex development): 副腎皮質過形成、卵精巢性性分化疾患、混合性性腺異形成症、アンドロゲン不応症、クラインフェルター症候群、ターナー症候群 etc.
- ・ 腎尿路結石: 腎結石、尿管結石、膀胱結石
- ・ 外陰部/生殖器疾患: 停留精巣、遊走精巣、陰嚢水腫、精巣捻転、包茎、閉塞性乾燥性亀頭炎、傍外尿道口嚢胞、尿道下裂、陰茎弯曲、精索静脈瘤 etc.
- ・ 神経因性膀胱: 二分脊椎、脊髄髄膜瘤、脊髄損傷、脳腫瘍 etc.
- ・ 排尿異常: 昼間尿失禁、夜尿症、過活動膀胱 etc.
- ・ 腫瘍: 小児精巣腫瘍、膀胱血管腫、腎腫瘍、横紋筋肉腫 etc.
- ・ 外傷: 腎外傷、尿道外傷、精巣外傷 etc.

CAKUTは将来CKD(慢性腎臓病)に移行する場合があります、早期からの腎機能の管理や、適切な手術、薬物治療などが必要となります。

外陰部疾患の中では停留精巣が良く知られており、さいわい現在では新生児期から小児期の定期健診で発見されることが多いのですが、まれに見逃されて紹介されてくる患児もいます。年長になるまで放置してしまうと将来精巣機能障害に繋がり、拳児が得られなくなるリスクが高くなります。なお、診療ガイドラインでは1歳半頃までに手術を行うことが推奨されていますので、乳児期までに診断が確定してはなりません。精巣捻転は緊急性が高く、おもに陰嚢/精巣の疼痛発赤で発症しますが、発症時点からおおむね6時間以内に緊急手術を行わないと精巣を失う可能性が高くなります。包茎は小児にはよくみられますが、その亜型に閉塞性乾燥性亀頭炎という疾患があり、排尿障害から腎機能障害(腎不全)

をきたす報告例もあります。この場合、軟膏などの保存的な治療は効果がなく、早期の手術が必要となります。

かんとくクリニックでは主に診断と内科的管理を担当いたしますが、外科的対応が必要とされる場合には、連携医療機関となっている宮城県立こども病院その他の関連病院と連携して治療をいたします。小児泌尿器科疾患はお子さん達がかかりうる疾患の中ではさほど頻度は高くはありませんが、治療を行わずに放置してしまったり、適切な治療開始時期が遅れてしまうことによって、将来にさまざまな機能障害（膀胱機能障害、慢性腎臓病、男性不妊症）を残してしまうことに繋がります。一見軽症と診られるために、地域の中核病院や宮城県立こども病院に紹介を考えながらも躊躇してしまうような患者さんも多くおられるかと思えます。そのような場合にはどうぞ当クリニックにお気軽にご相談下さい。各種のガイドラインに準拠した標準的診療に加えて、個々のお子さんに合わせたオーダーメイドの診療を考慮した適切な対応をさせていただきます。

【坂井清英 医師 履歴】

職位：宮城県立こども病院泌尿器科 科長

東北大学医学部臨床教授

東北医科薬科大学臨床教授

弘前大学医学部非常勤講師

ベガルタ仙台ドクター、マイナビ仙台ドクター

履歴：昭和 52 年（1977）3 月 長野県立松本深志高等学校 卒業

昭和 52 年（1977）4 月 東北大学医学部医学科入学

昭和 58 年（1983）3 月 同大学 卒業

東北大学病院、仙台市立病院、気仙沼市立病院、八戸市立市民病院、
白河厚生総合病院、東北公済病院 に勤務

平成 2 年（1990）2 月 28 日 学位取得「逆流性腎症の研究」

平成 7 年（1995）7 月 1 日 東北大学医学部泌尿器科助手

平成 14 年（2002）4 月 1 日 東北大学付属病院泌尿器科講師

平成 15 年（2003）9 月 1 日－令和 8 年（2026）3 月 31 日

宮城県立こども病院泌尿器科科長として勤務

所属学会：日本泌尿器科学会： 専門医・指導医

日本腎臓学会： 専門医・指導医

日本小児泌尿器科学会： 認定医

日本小児腎臓病学会

日本小児腎不全学会

日本先天性腎尿路異常・逆流性腎症フォーラム

日本胎児治療学会

日本小児ストーマ・排泄・創傷管理研究会

日本夜尿症・尿失禁学会

日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会

AUA (American Urological Association) 会員

学会開催： 1) 日本小児ストーマ・排泄管理研究会

第 26 回学術集会会長（平成 24 年 [2012 年] 4 月 28 日 開催）

2) 日本先天性腎尿路異常・逆流性腎症フォーラム

第 21 回学術集会会長（平成 25 年 [2013 年] 1 月 26 日 開催）